



安田瓦
YASUDA KAWARA

標準施工
マニュアル

 安田瓦協同組合

標準仕様部材

下葺材	アスファルトルーフィング940又は同等以上とする。屋根勾配と流れ長さにより、止水性の高い改質アスファルトルーフィング (t=1.0mm以上) を使用することが望ましい場合もある。
栈木	幅30mm以上、高さ12mm以上の良質の杉、松等又はそれと同等の性能を有する合成樹脂等を使用する。多雪地域又は、急勾配では作用する荷重の大きさに応じて断面積を割り増しする。
栈木用留付け材	栈木を野地板等に留め付けるための釘は、通常長さ50mm以上を使用する。材質は通常、鋼製を用いる。
瓦緊結用釘	瓦緊結用釘は、瓦を栈木に留め付けるための釘で、径2.4mm以上のステンレススクリュー回転止め加工釘とする。通常長さ50mm以上とする。
緊結線	平部・棟部で、栈瓦・軒瓦・袖瓦・のし瓦・鬼瓦の緊結に使用する場合に用いる。材質は、銅またはステンレスを使用し、線径は#20より太いものを使用する。また、腐食防止のため、銅線では被覆がなされたものを使用することが望ましい。
補強用釘 (パッキン付ビス)	材質はステンレス製とし、パッキンは耐候性・耐亀裂性の高い材質とする。
7形釘	長さ75mm以上のステンレス製釘を使用する。
棟補強金具	棟部の耐震・耐風のため、棟補強金具を用いる。コーチスクリューボルト等は、径10mm程度のものを用いる。材質はステンレス製又は鋼製とする。鋼製の場合は、溶融亜鉛メッキ、又はそれ以上の防錆性能があるメッキ材を用いる。
棟補強芯材	木材は、高さ40mm以上、幅30mm以上の良質の杉、松等又はそれと同等の性能を有する合成樹脂等を使用する。鉄筋は、径6mm以上のものを用いる。
棟葺き土	棟を強化する場合に、モルタルまたは南蛮しっくいを使用する。モルタルの調合 (容積比) は、セメント1、砂3とし、場合によっては混和材適量とする。
シーリング材	接着剤、シーリング材には、シリコン系のものを使用する。シリコンオイル汚染による変色やカビの発生を嫌う場合には、変性シリコン系を使用する。

ポイント

瓦用釘、ビスについて

SUS304以上の防錆性能を持つものを使用してください。

縦棧について

ルーフィングと栈木の間、水が流れる空間を確保する縦棧には、カットベニアや樹脂製のテープが使われます。施工は、垂木ピッチにタッカー等で留め付けます。

棟補強芯材について

木材の場合は、防腐・防蟻処理を施したものを使用するのが望ましい。その際防腐剤については環境に安全なものをご使用ください。

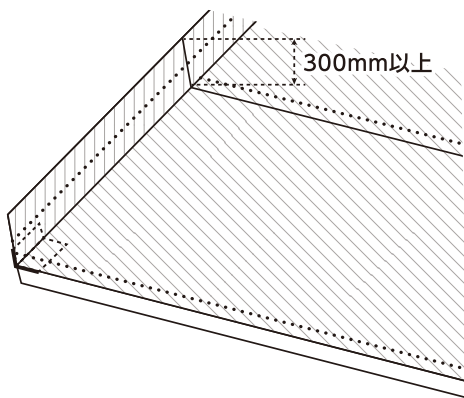
下葺工事

下葺材(ルーフィング)の施工法

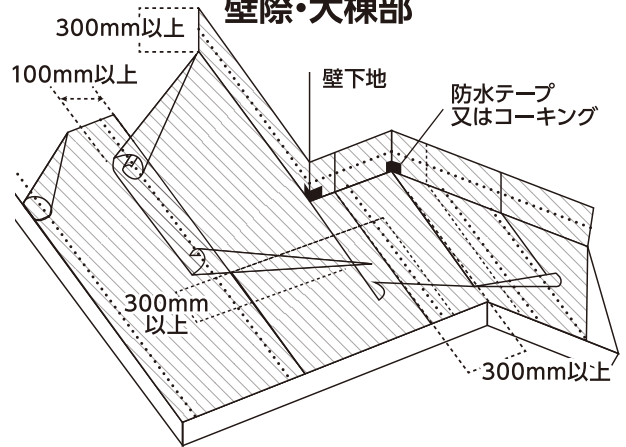
- ※ ルーフィングは桁行き方向に横張りしてください。
- ※ ルーフィングの重ね、立ち上げ寸法は下記図及び表を参考にしてください。
- ※ 軒先は瓦座の先端まで張ってください。
- ※ ピンホールが出来るおそれのある所、破れた所は、ブチル系・アクリル系の防水テープやコーキング等で補強してください。

	流れ方向	桁行方向	大棟	隅棟	谷	壁際
ルーフィング 重ね立ち上げ 寸法	100mm 以上 重ねる	300mm 以上 重ねる	棟芯より 300mm 以上重ねる	水下側で 250mm 以上重ねる	捨てルーフィング+ 水上側で200mm 以上重ねる	300mm 以上 立ち上げる

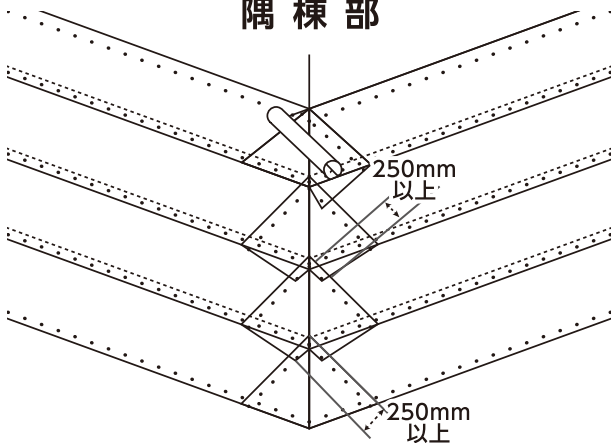
壁上り部



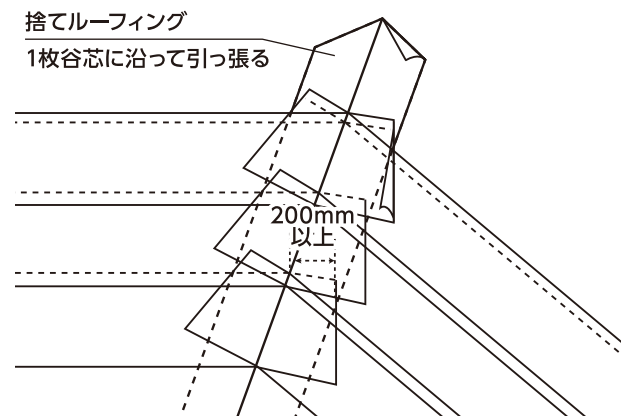
壁際・大棟部



隅棟部

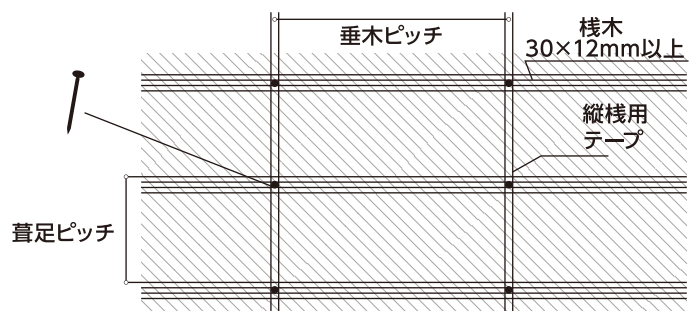


谷部



縦棧・瓦棧打ち

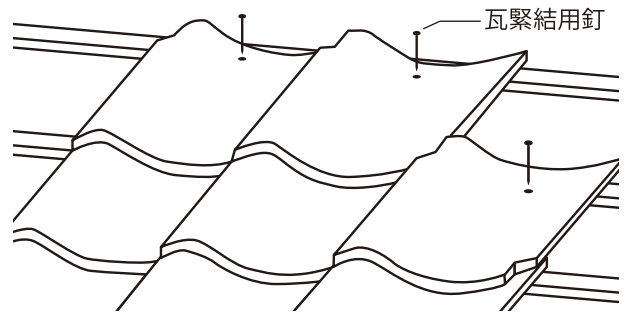
- ※ 縦棧は縦棧用テープ等を使用し、垂木ピッチにタッカーで取り付けてください。
- ※ 棧木は、30×12mm以上、材質・形状的に良質のものを選んでください。
- ※ 瓦棧は葺き足ピッチに合わせ垂木(縦棧)ごとに確実に釘を固定してください。



瓦(平部)の施工法

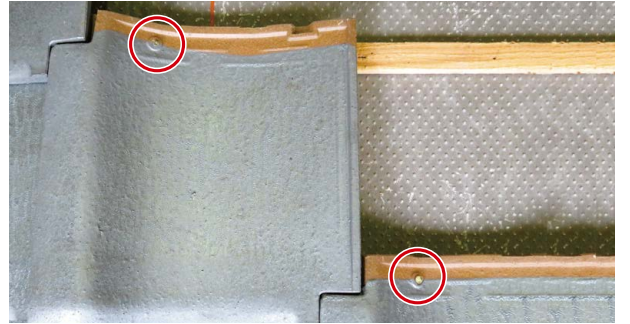
棧瓦 (防災棧瓦)

○ 棧瓦は、全数を棧木に瓦緊結用釘で留め付けてください。



ポイント

ガイドラインの標準検査試験において、地域や使用箇所によって2枚に1本の留め付けが可能とされていますが、地震・台風を考慮して特に2階の屋根には全数釘で留めつけることをおすすめします。

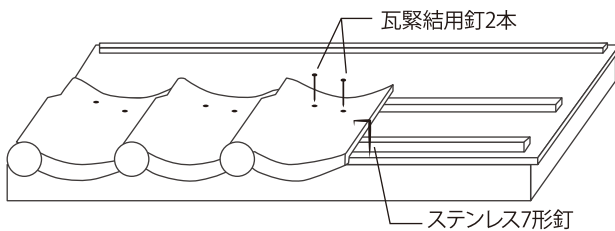


軒瓦

軒瓦は、尻部二箇所を瓦緊結釘や緊結線で留め付け7形釘か、パッキン付ビスなどで補強してください。

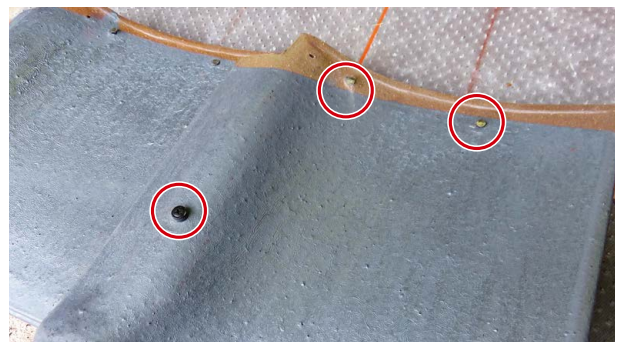
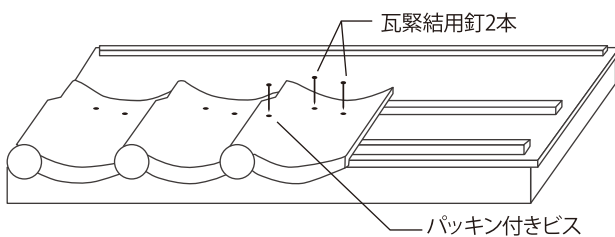
軒瓦の施工例1

二箇所を瓦緊結釘で留め付け、7形釘で補強。



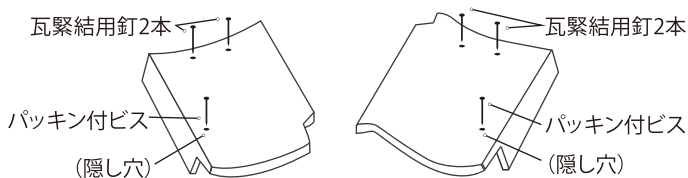
軒瓦の施工例2

二箇所を瓦緊結釘で留め付け、パッキン付ビスで補強。



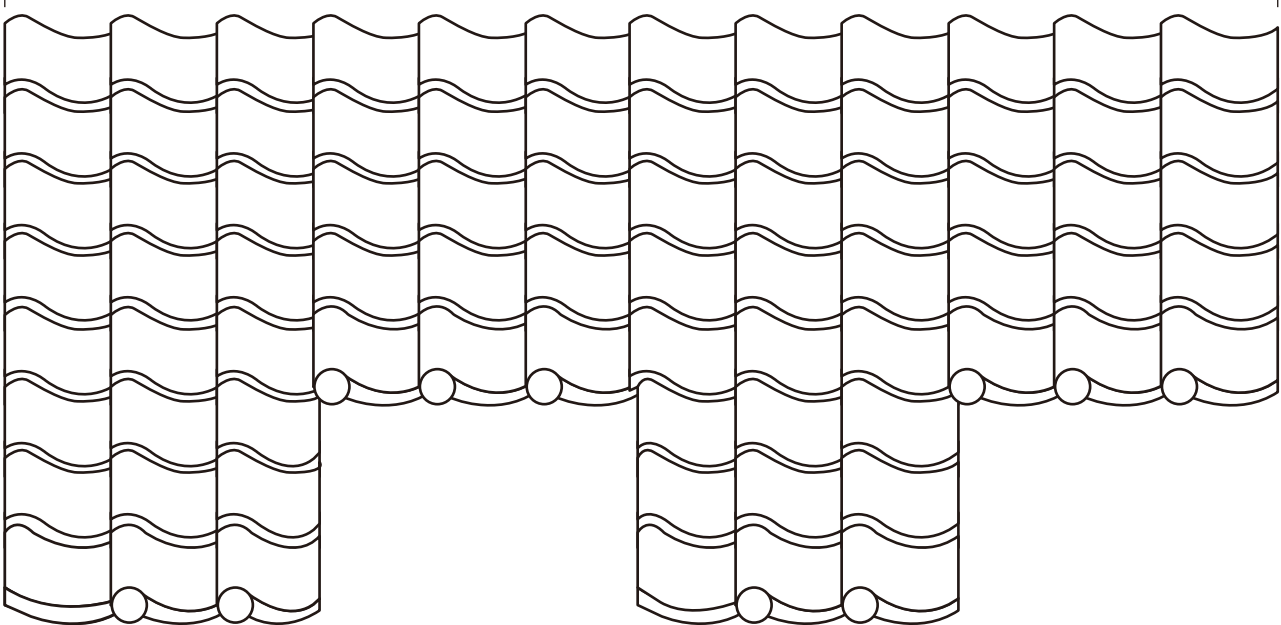
袖瓦

袖瓦は、尻部二箇所を瓦緊結釘で留め付け、パッキン付ビス又は緊結線で補強してください。



割り付け・屋根寸法

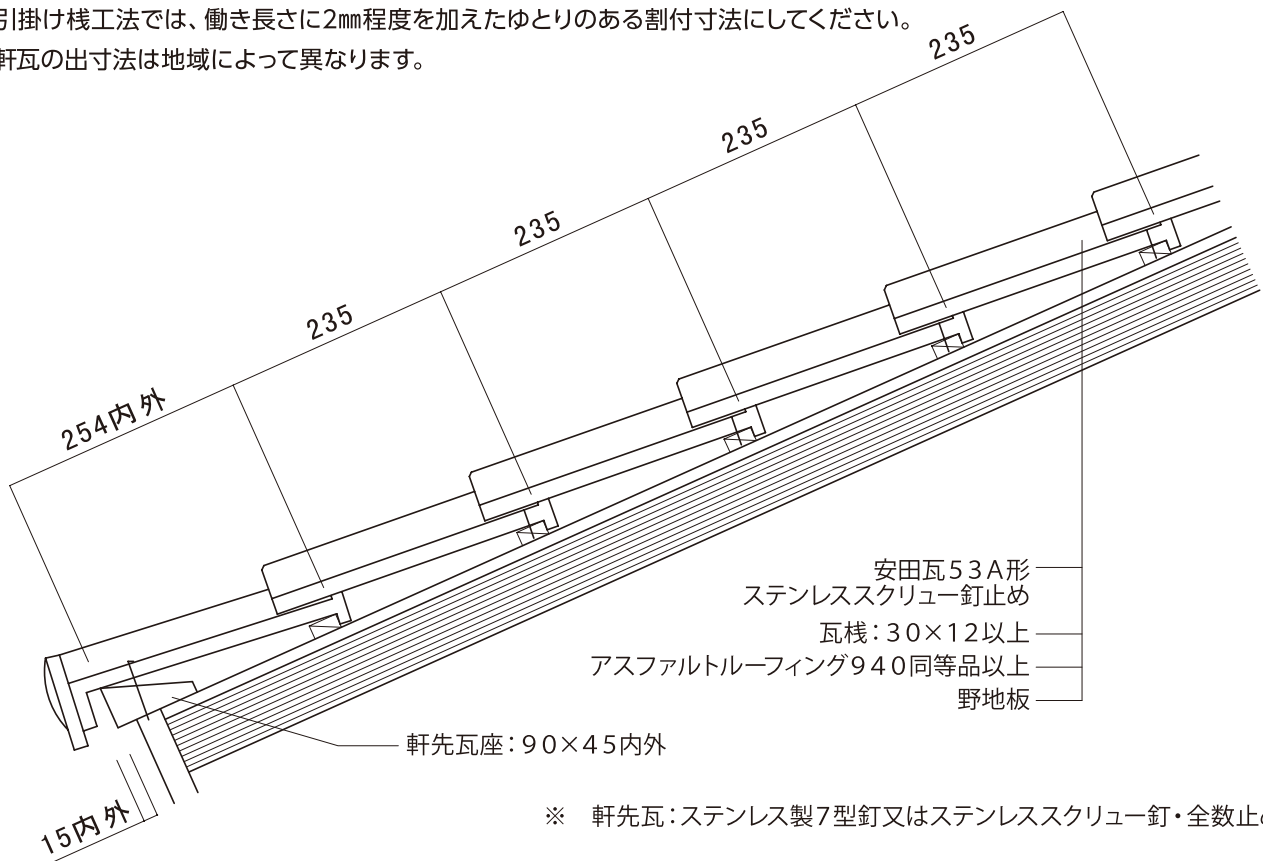
右袖(290)+左袖(214)+棧瓦(265)の倍数



左袖 214	棧瓦 265	右袖 290	棧瓦(265)の倍数+40	左袖 214	棧瓦 265	右袖 290	棧瓦(265)の倍数
右袖+左袖+棧瓦の倍数				右袖+左袖+棧瓦の倍数			
棧瓦(265)の倍数				右袖+左袖+棧瓦(265)の倍数			

流れの瓦割付寸法・軒部の納まり

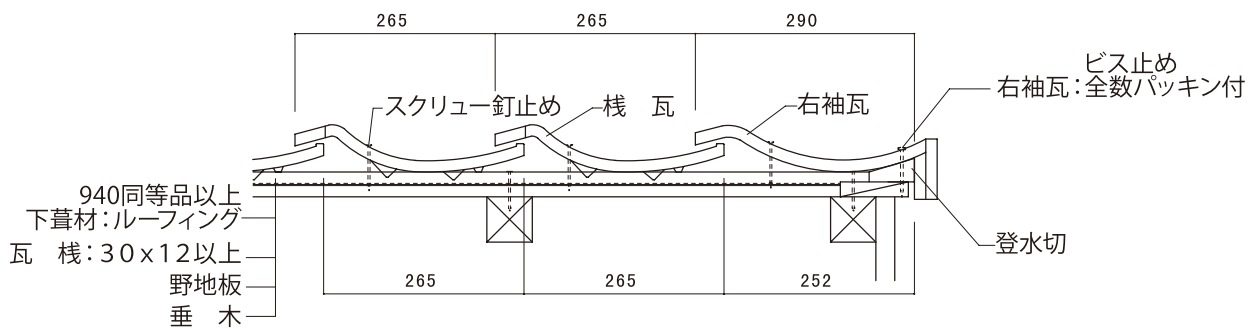
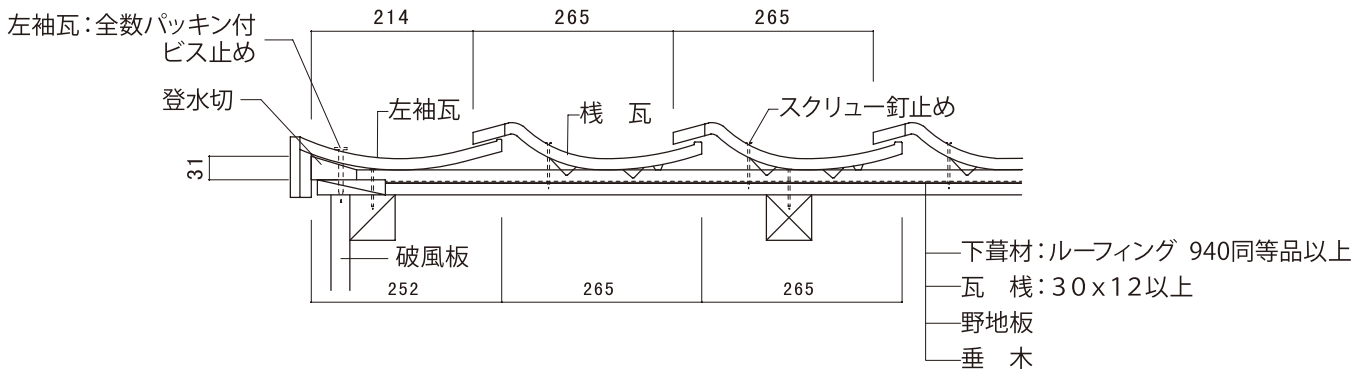
- 割付寸法は、必ず使用する瓦を実測してから決定してください。
- 引掛け棧工法では、働き長さに2mm程度を加えたゆとりのある割付寸法にしてください。
- 軒瓦の出寸法は地域によって異なります。



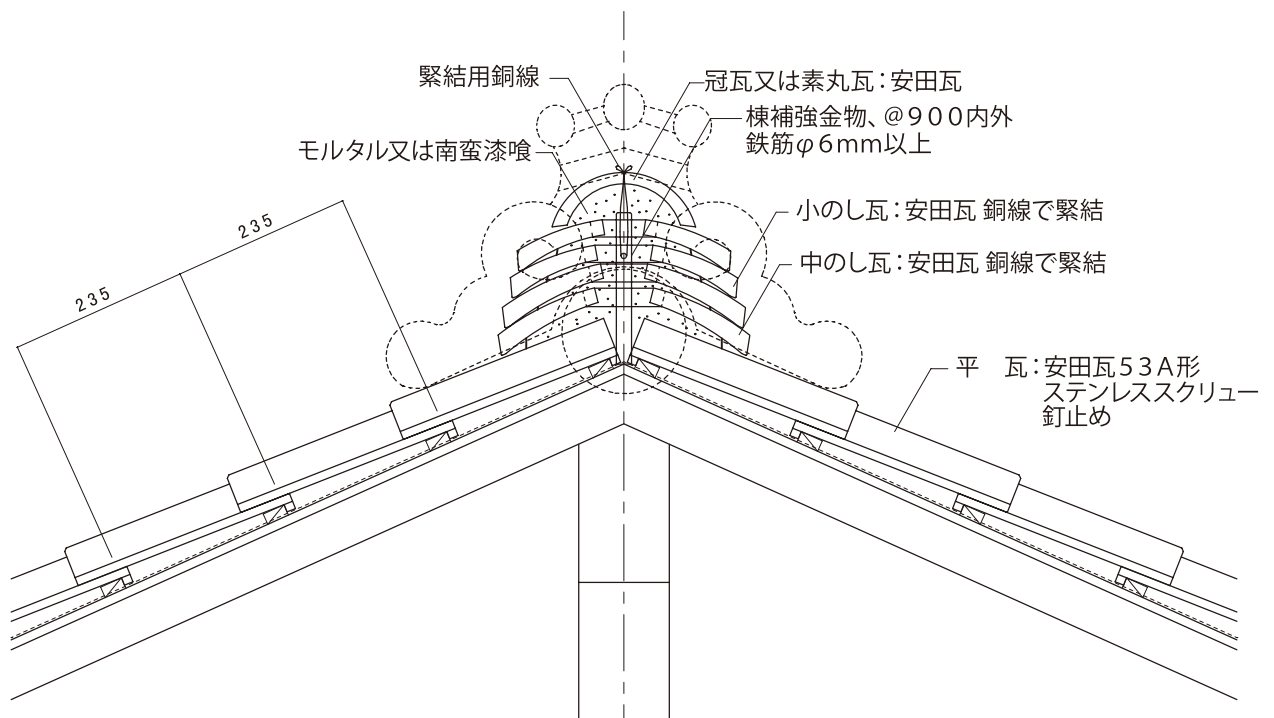
※ 軒先瓦: ステンレス製7型釘又はステンレススクリーナ釘・全数止め

桁行きの瓦割付寸法・袖部納まり

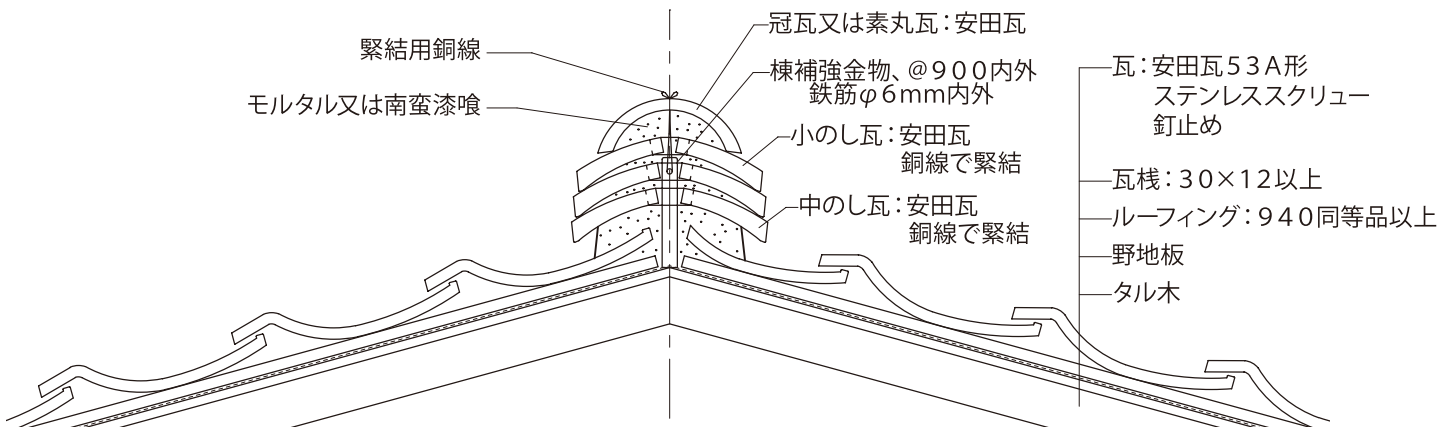
- 焼き物の特性上数ミリの誤差があります。
- 割付寸法は、必ず使用する瓦を実測してから決定してください。
- 袖の出寸法は地域によって異なります。ただし、必ず補強用ビス又は銅線を留め付けられる位置に取付けてください。



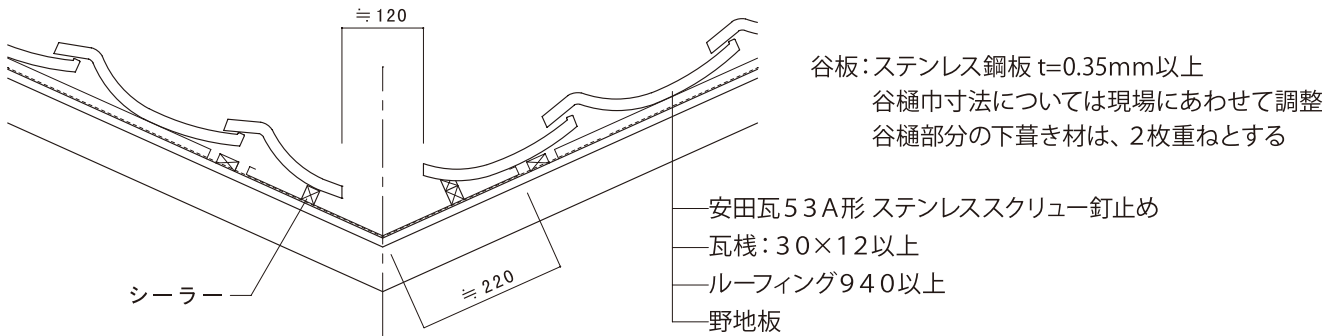
棟部納まり



隅棟納まり

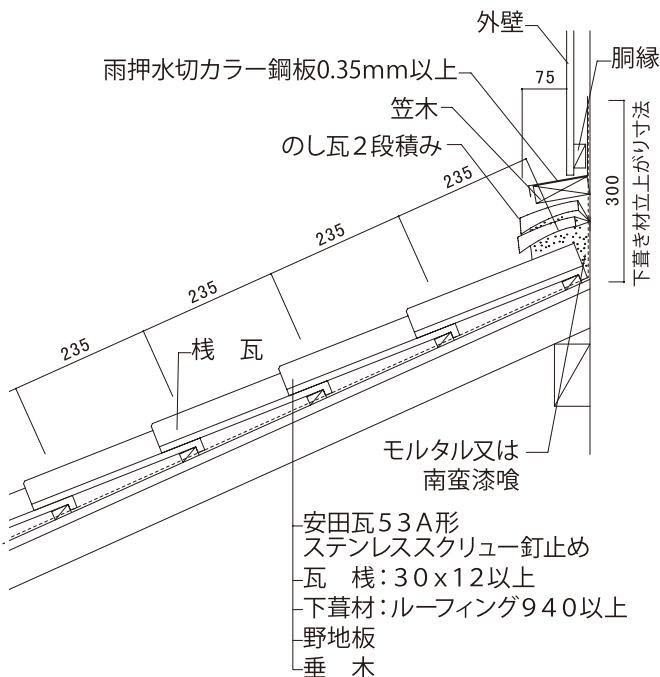


谷部納まり

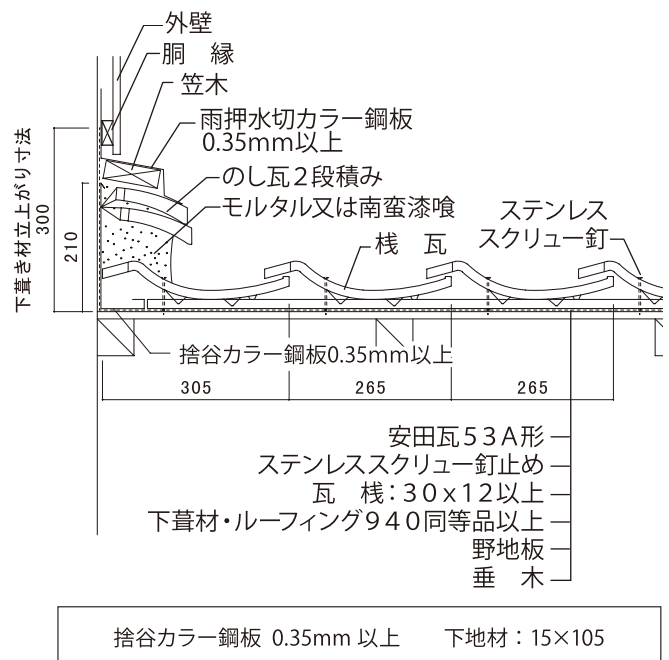


※ 屋根勾配が4寸以下の場合はタテ棧 (タル木ピッチ) 施工又は溝付瓦棧とする。ルーフィング材質はゴムアス系t=1.0が望ましい。

壁際(水平)納まり



壁際(流れ)納まり





監修：職業訓練法人 安田職業訓練協会
安田瓦高等職業訓練校

新潟県阿賀野市保田7372番地 TEL 0250-68-2112 FAX 0250-68-2116
URL www.yasuda-kawara.jp MAIL yasudakawara@alpha.ocn.ne.jp

[仕様は予告なく変更する場合があります]

2020年3月